



《全日本中学校長会》 令和7年12月8日（月）

12月 会長メモ

会長 青海 正



デフリンピックでは、スタートの合図を、どのように聞こえない人たちに伝えるのでしょうか。耳が聞こえなくても、参加者が不利にならないよう目で分かる様々な工夫（視覚保障）がされています。例えば100メートル走のスタートの出発音。光がピカッと光る『フラッシュランプ』でスタートを知らせます。私は4種目（バレー、バスケット、ビーチバレー、ハンド）を観戦し新しい発見と感動がありました。

中間会計監査会、副会長会及び新春座談会について

11月14日（金）に中間会計監査会、臨時常任理事会及び新春座談会を行いました。中間会計監査では上半期における予算執行状況や適切な会計処理が行われているかについて監査委員の皆様に確認していただきました。関係帳簿や証票、通帳等をチェックしていただいた結果、3人の監査委員の方々から、適切な処理が行われている旨、報告がありました。来年度からは、監査委員の負担軽減の視点から、オンラインでの会計監査を予定しております。

続けて開催されました新春座談会では、文部科学省初等中等教育局教育課程課長 武藤 久慶 様をスペシャルゲストとしてお招きし、「次期学習指導要領の改訂を踏まえたカリキュラム・マネジメント」と「全中新教育ビジョン 提言1『確かな学力』」について、武藤課長と8名の副会長が各々の思いをぶつけ、熱い懇談を行いました。新春座談会の様子は、2月の機関誌「中学校」に掲載される予定ですので、楽しみにしてください。

中央教育審議会 総則・評価特別部会（第3回）について

以下の①から⑤のような機能を備えたデジタル学習指導要領は、現在の課題を解決することができるのではないかという、デジタル技術を活用した学習指導要領の抜本的改善に係る議論がありました。①ウェブサイトベースの提供により、日々使用する教科書の指導書等から該当する学習指導要領・解説等の記載をリンク等により一体的・即時的に確認できる。②多様なレイアウト変更やキーワード検索等により教師が見たい情報をしたい形で閲覧できるし、教科内、教科間、校種間の系統性・関連性を掴みやすい。③学習指導要領データを多様なレイアウト・ファイル形式での出力が可能で、学習指導案の作成や学習進度管理、アイデアメモなど教師の多様な利用が可能になる。④生成AIが読みやすい形式で学習指導要領データが提供されており、AIを活用して学習指導案・評価計画案・教材等を練ることが容易にできる。⑤学習指導要領コードをより使いやすい形でデジタル学習指導要領に埋込み、コードを介して関連する多様な教材を探すことができる。デジタル技術を活用したUIの抜本的な改善を通じて、日々の授業作りに使いやすい学習指導要領を実現し、学習指導要領に示す資質・能力の理解に基づく豊かな授業づくりに繋げていくことを目指しています。

高校教育改革交付金の実現を求める緊急集会について

11月19日（水）16時から、参議院議員会館講堂において開催されました高校教育改革交付金の実現を求める緊急集会に出席しました。会合では、松本洋平文部科学大臣からの力強いメッセ

ージに加え、歴代の大蔵経験者である柴山昌彦議員、萩生田光一議員、永岡桂子議員が会場に駆けつけ、応援メッセージをくださいました。令和8年度からのいわゆる「高校無償化（私立高校加算額上限 45.7 万円までの引き上げ及び収入要件の撤廃）」は、年約 4,000 億円の公金の多くが大都市圏へ流入し、過疎地域 や地方部の生徒が都市部へ大量流出するリスクを孕（はら）んでいます。いわゆる「高校無償化」が、各地域における唯一の高校や地域産業を支えてきた専門高校等を衰退させ、地方創生の流れに逆行することがないよう、無償化にあわせて、地域唯一の高校の魅力化、専門高校の高度化、そして普通科改革といった高校教育改革への抜本強化を図る必要があります。高校無償化を単なる負担軽減策に留めず高校教育改革の起爆剤とするためには、日本の地域・社会・産業の持続成長に資する人財育成を抜本的に強化するための高校教育改革のグランドデザインを描くとともに、その実現のために年 1,000～2,000 億円の高校教育改革交付金を構築し、継続性・計画性をもった抜本的な改革支援を行うことが必要です。こうした取組に先立ち、令和7年度補正予算において新たに基金等を設置するなど、支援強化を図る必要があります。これらの取組に賛同を示す「高校教育改革を実現する会」（全日中も賛同）は、この機会を高校教育改革の好機と捉え、日本の教育及び次代の人財育成のために、その実現に向け取り組んでいきます。

大都市中学校長会連絡協議会について

第82回大都市中学校長会連絡協議会「千葉大会」が開催されました。11月13日（木）、14日（金）の両日にわたり、東京ベイ幕張ホールを会場に、全国の政令指定都市に東京都を加えた21都市の校長会の代表約200名が一堂に会して、熱心な協議が行われました。当日は、田井総務部長にお願いいたしました。以下、総務部長からの報告を踏まえて記述しています。

全国には高い志をもった校長先生が沢山いらっしゃり、各組織の発展にご尽力されています。大都市中学校長会も各都市で固有の実態や問題を踏まながら、大会趣旨である「大都市のもつ中学校教育にかかる諸問題について、情報交換、研究協議を行い、その解決の方途を探りながら、各都市における中学校教育の充実・発展を期する」を実現するため、真剣に論じ合う姿には、心から感銘を受けました。分科会協議会と併行して行われた会長会では、道府県と政令市の校長会の在り方や全日中との関係についても意見交換が行われました。

各都市の考え方が尊重されるのは当然ですが、全日中といたしましては、今後も会則【構成】（第3条）に基づく、連合体としての立場を大切にしてまいりたいと考えております。予算や人事等、多くの面で課題があっても、日本の中学校教育の未来を展望するに当たっては、すべての校長会のベクトルが同じ方向となるよう、これからも引き続き、ご協力を賜りますようお願いします。

各教育関連団体の活動について

11月に各教育関連団体等の活動について、以下のとおり参加しておりますので参考までに紹介させていただきます。

名 称	開催日	出席
中学校教育80周年記念運営委員会（第3回）	11月 4日（火）	会長、事務局
中央教育審議会 総則・評価特別部会	11月 12日（水）	会長
第82回大都市中学校長連絡協議会千葉大会	11月 13日（木）、14日（金）	総務部長
全日中（中間）会計監査会・第2回副会長会	11月 14日（金）	会長、事務局
高校教育改革交付金の実現を求める緊急集会	11月 19日（水）	会長
第63回中学生生命保険作文コンクール表彰式	11月 21日（金）	会計部長
全国家庭科教育研究会（ZKK）会長との懇談	11月 25日（火）	会長